資料 No. 3

第Ⅴ期中期経営計画の骨子（案）

1. 本院のこれまでの取組と国等の今後の動向

・高岡市民病院は、地域に根差し、地域住民に信頼される病院を目指し、急性期病院としての機能特化、自治体病院としての政策的医療の堅持、地域連携の推進に取り組んできた。その結果、平成 29 年度（2017 年度）からの黒字化を達成した。

・国においては、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年、そして高齢者人口がピークとなる 2040 年に向け、地域医療構想の実現に向けた取組、医師や医療従事者の働き方改革、実効性のある医師偏在対策を推進することによって、限られた医療資源の最適化を図り、質の高い効率的な医療提供体制の構築を目指すこととしている。地域医療構想においては、2025 年の医療需要を見据えた効率的で質の高い医療提供体制の構築のため、急性期病床から回復期病床の転換を含めた病床の機能分化・連携の推進、在宅医療等の充実、医療従事者の確保・養成を施策の柱としている。

2. 目指すべき本院の将来像

高岡医療圏の医療需要は 2025 年をピークに減少に転じると見込まれているため、第Ⅴ期中期経営計画では、第Ⅳ期中期経営計画を基本としつつ、病床機能の適正化や地域連携のさらなる強化等、効率的な医療提供体制の構築に努める。
・高岡医療圏において救急医療、がん治療などの高度医療を担う急性期病院として、引き続きその機能強化に努め、質の高い医療を実践していく。
・自治体病院として、民間医療機関では限界のある政策的医療に引き続き取り組むとともに、地域ニーズの高い医療サービスを提供する。
・地域医療機関や介護施設等とのさらなる連携を含めたチーム医療の推進により、安心で信頼のおける地域完結型医療を目指し、地域包括ケアシステムの構築を牽引する。

3. 計画期間

令和３年度（2021）～令和７年度（2025）

4. 事業計画の概要

(1)　2025 年までの方向性を見極めながら、引き続き急性期病院としての役割を担うため、その方向性にあった施策を盛り込む。
(2)　第Ⅳ期中期経営計画を踏襲し、医療の質の向上と経営の安定、チーム医療・ワークライフバランスの推進の３大項目を維持しながら、中項目を今後の動向を踏まえたものとする。

ー医療の質の向上ー

ー急性期・高度医療の充実、政策的医療の堅持ー

・急性期医療の充実
〇救急・集中医療体制の維持
〇高度医療機器の更新と更なる活用
★内視鏡手術支援ロボットの手術領域拡大

・拠点病院としての機能強化
★がん診療拠点病院としての診療の質の向上
★がん診療に関わるスタッフの資質向上
〇災害拠点病院としての機能向上

・特長ある診療の強化
〇５疾病への対策強化
★周産期医療体制の充実
★妊産婦の満足度向上に向けた取り組みの推進

・政策的医療の堅持
★感染症に対する医療圏内での中核的な役割の遂行
★新型感染症への対応強化、予防啓発の推進
〇精神・認知症疾患への体制充実

ー安全・安心・納得の医療提供ー

・医療情報提供、医療相談体制の充実
〇根拠に基づく医療の実践
〇ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞ・ｺﾝｾﾝﾄの徹底、心のこもった接遇
〇診療情報の提供
〇患者サポート体制の充実

・信頼される病院づくり
〇病院機能評価の認定更新
〇医療安全体制の維持・強化
〇院内感染防止に向けた取り組みの推進
〇個人情報の保護
〇利便性の向上

・医療スタッフの確保・資質向上
〇スタッフの確保・資格取得支援
〇臨床研修医の確保
〇医師・看護師等の負担軽減による診療充実
★特定行為に係る看護師の育成
★AI 等の活用の検討

ー地域に根差した医療の提供ー

・地域支援機能の充実
〇紹介・逆紹介の推進
〇急性期･回復期間、医療･介護間の連携強化
〇専門的医療を活かした地域（介護・訪問看護等）への支援の推進
〇地域医療機関との情報交換･共有の推進
〇オープンベッド・医療機器共同利用の促進

・予防医療の推進
〇院外健康教室・出前講座の実施
〇予防医療体制の充実

・地域医療構想と連動した医療体制構築
〇地域医療構想に基づく地域包括ケア体制構築に向けた取り組み

ーチーム医療の推進・ワークライフバランスの推進ー

・チーム医療の推進
〇多職種連携による専門性を活かした積極的な医療資源の投与

・病院機能強化に必要な人員配置・人材育成
〇多職種職員の専従配置等病院機能強化に必要な人員の確保・育成

★働き方改革の推進
〇労働時間短縮に向けた取り組みの推進
★他職種によるﾀｽｸｼﾌﾃｨﾝｸﾞ･ｼｪｱﾘﾝｸﾞの推進
★院内保育所の開設

ー経営の安定ー

・医業収益の確保
★円滑な救急・紹介患者の受入
★患者獲得に向けた広報力の強化
〇医療機能向上につながる高度医療機器の更新
〇経営の安定に必要なスキルを有する職員の育成

・医業費用の削減
〇薬品・医療材料の効率的運用
〇長期的な計画を基にした修繕の実施
★保守管理費用等の抑制
★診療体制の見直しの検討

★持続可能な病院経営のための病床数の適正化

・情報化の推進
★病院情報システムの機能向上・更新
〇情報の分析と積極的活用

・一般会計繰入金の適正化の維持